

<p>会 議：令和6年度座間市自治会総連合会定期総会 議事録</p>
<p>連絡事項：なし</p>
<p>議 題：第1号議案 令和5年度事業報告、収支決算および監査報告  第2号議案 座間市自治会総連合会規約改定（案）  第3号議案 令和6年度役員（案）  第4号議案 令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）</p> <p>※配布資料(事前)：令和6年度 定期総会議案書</p>
<p>日 時：令和6年5月25日(土) 14:30～15:45</p> <p>場 所：ハーモニーホール座間 小ホール</p>
<p>司 会：矢野 雅彦</p>
<p>議 長：瀬下 順次（東建座間ハイツ自治会副会長）  書 記：古見 章代（事務局職員）</p>
<p>議事録署名代議員：上坂 上（新田宿第2自治会長） 曾根 市郎（上栗原自治会長）</p>
<p>出席者：代議員 100名 委任状 124名（代議員総数251名中 224名）</p> <p>規約10条にある「代議員の3分の2以上の定足数」に達し、定期総会は成立。</p> <p>傍聴人 なし</p>

## 【議事】

### 1) 第1号議案 令和5年度事業報告・収支決算および監査報告

#### (1) 令和5年度事業報告「運営方針の評価とまとめ」について（報告者：湯浅会長）

議案書P2~5に基づき説明。

##### 1. 地区および単位自治会へのお役立ち活動の充実

- ・単位自治会からの相談等への対応のほか、事務局が自治会の資料作成等をサポートした。
- ・年度単位のファイリングであった自治会総会議案書を自治会単位のファイリングにし、自治会からの問い合わせに事務局が的確に対応できるようにした。
- ・単位自治会でのスムーズな引き継ぎのため「自治会長研修会資料」の内容を更新し、3地区自連が実施した研修会で資料を利用した。
- ・市自連ホームページに単位自治会や地区自連に役立つ情報等を掲載し、ホームページへの誘導策を検討したなかで、5組織（単位自治会と地区自連）が独自のホームページを運用している。市自連ホームページには地域防災や子どもの見守り活動等を掲載した。

##### 2. 市自連のあり方の見直し

- ・地区自連が地域の実状を踏まえ、13組織から16組織に再編された。
- ・再編のなかで、16の単位自治会が地区自連に属さない市自連直下自治会となった。そのうち3自治会は、「単独自治会」から市自連に戻ってきてくれた。
- ・事前質問：市自連直下自治会の市自連への会費が400円/世帯であることの根拠について  
回答：地区自連を介さずに事務局が個々の自治会と直接やり取りすることで事務処理料が増えることへの経費であり、地区自連所属の自治会が負担していることを「会費」として担っていただく意味もあると考え、この金額にした。
- ・市自連のルール体系とその内容見直しを行い、「規約」「規約細則」「規程」とした。
- ・地区自連の負担軽減のため、正副理事の役割を見直し、規約を改定した。
- ・県央三市自治会連絡会に出席した。令和6年度からは、大和市の自治会組織も加わり「県央四市自治会連絡会」となる。

##### 3. 防災・減災の意識啓発

- ・各避難所運営委員会の活動状況を把握し、運営委員会未設立地域の組織立ち上げを後押しする等、状況に応じて活動促進を図った。
- ・市くらし安全部危機管理課の「座間市避難所運営ガイドライン」作成に協力した。
- ・県主催の「自主防災組織リーダー等研修会」への自治会参加を支援した。
- ・市消防本部の訓練施設などの研修環境を地区自連や自治会に周知して利用を勧め、座間中学校避難所運営委員会、相武台地区自連、ソフィア相武台自治会が活用した。

##### 4. 防犯活動の支援

- ・「防犯パトロール車実施者証」取得・更新のための講習会を座間警察署の協力で実施し、参加者19名のうち、「実施者証」新規取得が3名いた。

- ・防犯パトロール車は、座間防犯協会と座間市所有のパトロール車と合わせて、自治会組織が24回利用した。
- ・行政等が推進する防犯パトロールのうち、10月の「県安全安心まちづくり旬間」に伴うパトロールは延べ438名、12月の市内一斉防犯パトロールは12地区自連が実施し、延べ673名、参加した。
- ・交番と地区自連や単位自治会との防犯情報共有のため、交番エリアの自治会を座間警察署に確認し、一覧表を作成した。

#### 5. 環境美化活動の支援

- ・行政の活動について所管部署と話し、周知のため広報紙「市自連ニュース」に掲載した。
- ・自治会（広野台自連協）の高座クリーンセンター環境プラザと座間市第2資源リサイクルセンター見学を申込処理等でサポートした。

#### 6. 加入促進活動の推進と支援

- ・地域クーポンの展開のため、協賛店舗を更に募り、年度初めは46店舗団体であったが、令和5年度末は71店舗・団体に増えた。
- ・協賛店舗・団体が少ないとの意見があるが、ぜひ日常利用している店舗に協力を呼びかけてほしい。
- ・自治会の存在意義を確認し、防災活動等自治会の強みを生かした価値を明確にしてわかりやすい加入メリットを提案したかったが難しかった。もっと価値を上げなければいけない。
- ・行政に協力いただき、市庁舎で年度末加入促進キャンペーンを行い、加入希望があった。
- ・イオンモール座間に協力いただき、令和5年7月22日～24日の3日間、自治会活動紹介のパネル展示をイオンモール座間で行った。

#### 7. 広報の充実

- ・市自連だより「ふれあい」や「市自連ニュース」は、会員に役立つ紙面づくりを心掛けた。
  - ▷「市自連ニュース」（回覧）：32,33,34号の3回発行
  - ▷「ふれあい」（全戸配布）：第78号の1回発行
- ・市自連ホームページは、単位自治会ホームページ更新時のリンクの機動性を上げた。
- ・Googleカレンダーは、別ページだった自治会等の印刷予約状況と市自連会議予定等を一つのページに統合した。
- ・自治会員優待制度ホームページを新たに設けて、市自連ホームページとリンクさせ、優待制度の普及に努めた。
- ・LINE公式アカウントの活用のため、理事への試験運用を開始した。

#### 8. その他

- ・能登半島地震（令和6年1月1日）について、被災地への義援金の協力を自治会に依頼。65自治会等から預り金額は85万円となり、令和6年5月20日に石川県志賀町に届けた。

(2) 令和5年度収支決算（報告者：吉岡会計）

総会議案書P16に基づき説明。

年度当初予算は24,000世帯で組んだが、実績は23,764世帯。平成22年度51%程であった加入率が、現在は40%を切る状況。14年間で7000世帯減っている。

・収入について

行政からの補助金、単位自治会会費、市社協や赤十字社座間支部からの協力金など。

・支出について

事業費）市民レクはコロナ禍で大きく開催実績が落ち込んだが、開催数が戻り、補助金支出が200万を超えた。

総務費）令和6年度分自治会会員証発行のための支出が年度末にあったため、繰越金はかなり厳しくなった。

繰越金）会員世帯数減のため状況は悪化しているなか、貸金引当金80万円は確保。

(3) 監査報告（報告者：大矢 隆造会計監事）

令和6年4月5日に令和5年度収支決算の監査を行い、適正に処理されている旨報告。

(4) 質疑応答

・事前質問書1件。

市自連直下自治会の市自連への会費について（質問者：緑ヶ丘六丁目自治会代議員）

※事前質問の回答は、議事録に盛り込んだので、該当箇所を参照してほしい。

・当日の質問：決算報告「収入の部」備考欄の「会員数」について（質問者：同上）

「会員数」とあるが、具体的な数字はどこに明記されているのか。

・回 答：欄外上部に「会員数 23764世帯」と明記してある旨説明した。

(5) 採決

議長が採決を諮り、第1号議案は賛成の挙手多数で承認。

2) 第2号議案 座間市自治会総連合会規約改定（案）（提案者：湯浅会長）

(1) 規約改定を提案する理由

1. 規約は、役員会で提案し、理事会で承認、総会で決定する、

細則は、役員会で提案し、理事会で承認・決定する、

規程は、役員会で提案・決定し、理事会に報告する、こととし、それぞれ規約に明記するため。

2. 地区自連のくくりを変える動きがあり、地区自連を定義した「別表1」は、規約から削除し、規約細則に移すため。

(2) 改定案として提案した点

・第3条、第22条、第36条、第48条、（別表）について、提案理由に関わる内容を変更、追加、削除。

(3) 質疑応答

- ・事前質問、当日質問、なし。

(4) 採決

議長が採決を諮り、第2号議案は、賛成の挙手多数で承認。

議長により、「市自連規約改定案(案)」と「座間市自治会総連合会規約(案)」の「案」それぞれの削除が宣言された。

3) 第3号議案 令和6年度役員(案)(提案者:湯浅選考委員長)

(1) 選考委員長から令和6年度役員(案)が読み上げられた。

(2) 質疑応答

- ・事前質問と当日の質問、なし。

(3) 採決

議長が採決を諮り、第3号議案は賛成の挙手多数で承認。

議長により、「役員(案)」の(案)の削除が宣言された。

4) 第4号議案 令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)

総会議案書P40~41をもとに、提案者からそれぞれ提案がなされた。

(1) 令和6年度事業計画(案)(提案者:湯浅会長)

今年度目標は「魅力あるコミュニティ創り」。

計画は柔軟な対応ができるようにするために、シンプルにした。

1. 地区自連および単位自治会へのお役立ち活動の充実

- ・単位自治会や地区自連からの相談等対応は、事務局が自治会の負荷軽減につながるよう、対応していく。
- ・自治会や地区自連にとって有益な助成金等の情報を得たら、地域に提供する。
- ・地区自連のあり方の見直しは引き続き行っていく。
- ・地域の関係団体との連携を強化し、自治会や地区自連の参考にしてもらうため、良い事例は市自連ホームページで紹介する。

2. 防災・減災の意識啓発

- ・避難所運営委員会活動、安否確認の仕組み作り、減災活動、これらの活動の推進と支援は今年度も継続する。
- ・自主防災組織研修会の実施支援や市消防本部を活用した研修会の実施を啓発、支援する。

3. 防犯活動の支援

- ・防犯パトロールの推進や行政等が推進する防犯パトロールへの協力を引き続き行い、また、交番と自治会との連携による防犯認識の向上も啓発していきたい。

#### 4. 環境美化活動の支援

- ・資源化活動の情報提供や生活関連施設視察研修会のサポートを行う。

#### 5. 加入促進活動の推進と支援

- ・会員優待制度のさらなる展開のため、継続可能な運用を構築する。
- ・集合住宅の加入率向上策や「退会届」を出せばそれまで、となっている現状に対し、その前に何らかの手立てができることが大切であり、そのための方策を検討したい。

#### 6. 広報の充実

- ・非会員にどんな自治会で何をしているのかをアピールする、広報によるアプローチ策を検討する。
- ・会員には、LINE公式アカウントの展開を図り、市自連ホームページの情報を更新した際のプッシュ通知をしていくことで、市自連との連絡を中心に考えている。自治会で最低限1名は登録してほしい。会員の声を聞くためのアンケートもとってみたい。

### (2) 令和6年度収支予算案（報告者：阿部会計）

総会議案書P43に基づき説明。

冒頭で予算の間違ひについてお詫びと訂正。

支出の部 「総務費」「活動費補助」役員・理事等交通通信費補助

誤：672,000 正：772,000

年度当初予算は23,000世帯で組んだが、実績は22,728世帯。

#### ・主な収入内訳について

行政の補助金、単位自治会会費、市社協や赤十字社座間支部からの協力金など。

今年度は市自連直下自治会が16組織あり、会費400円/世帯が新たな収入。

#### ・支出について

事業費) 部会が活動するための事業促進費は前年度とほぼ同額の予算。

広報紙作成等はより安価な方法も利用し、定期的な発信を確保したい。

総務費) 地区自連が16組織になったので、役員・理事等交通通信費補助を前年度比123%増額、賃金引当金は前年度と同額を確保した。

### (3) 質疑応答

- ・事前質問書1件。

「6. 広報の充実」LINE公式アカウントの展開について（質問者：明王自治会代議員）  
質問（要望）：早急にプッシュ通知を開始してほしい。

事業計画案の「LINE公式アカウントの展開」の説明のなかで、早めに作業していく旨、回答した。

- ・当日の質問：LINE公式アカウントの展開について（質問者：大門自治会代議員）  
合理化のなかでのLINEの活用だと捉えているが、高齢者がどの位LINEを使用しているのか事前に調査したのか。LINEをやっていない、或いは、やる環境がない人を切り捨てることはしないでほしい。
- ・回 答：情報伝達は複数の手段で行うので、LINEを使わない会員を切り捨てないし、紙媒体をやめることはない。

(4) 採決

議長が採決を諮り、第4号議案は賛成の挙手多数にて、承認された。

議長により、「令和6年度事業計画(案)・収支予算表(案)」の(案)の削除が宣言された。

5) 議長解任

すべての議事が終了し、議長及び書記が解任された。

議

長

瀬下 順次



議事録署名代議員

上坂 上



議事録署名代議員

曾根 市郎

